

2023年10月5日
南海電気鉄道株式会社
泉北高速鉄道株式会社

南海電気鉄道8300系車両、及び泉北高速鉄道9300系車両が 「2023年度グッドデザイン賞」を受賞

南海電気鉄道株式会社（社長：岡嶋 信行）の8300系車両、及び泉北高速鉄道株式会社（社長：金森 哲朗）の9300系車両が、2023年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞しました。



8300系車両



9300系車両

■8300系車両及び9300系車両について

8300系車両及び9300系車両は、「省エネルギー化」、「安全・サービスの向上」、「車両メンテナンスの向上」を目指して開発された車両で、「人と環境に優しい車両」として完成しました。

2015年から導入している8300系車両は、一部車両にラゲッジスペースを設けて様々なニーズに対応しているほか、お客さまの声を内装に反映させ、より車両に親しみを感じていただけるようアップデートしてきました。一方、今年導入した9300系車両は、8300系車両をベースに、外装と座席シートの色に泉北高速鉄道伝統のカラーを採り入れて泉北らしさを表現するとともに、内装に濃い色調の木目柄を多用することで、落ち着きと安らぎの空間を演出しました。

■グッドデザイン賞審査委員 評価コメント

通勤用の鉄道車両は基本設計を共通とすることが多く、個性が出しにくい。その中でこの2車種は、グループとしての共通項と、会社ごとの独自性を絶妙に両立している。とりわけ車内の木目調の床と、人数分を2トーンで色分けしつつ落ち着いた色調の座席は、住宅のインテリアを思わせる。そのうえで9300系はダークな木目調と暖色系の座席とすることで、ニュータウンを走る鉄道車両としての差別化を実現している。空港アクセス鉄道で重要な多目的空間を導入するなど、多様化に配慮している点も印象的である。

■車内デザイン



8300系車両 車内

(「NANKAI マイトレイン」仕様の車両)



9300系車両 車内

<参考>「NANKAI マイトレイン」について

南海電鉄では、2017年9月に「NANKAIマイトレイン」プロジェクトを立ち上げ、和歌山大学の空間デザイン研究室の川角典弘講師監修のもと、鉄道部門だけでなく社内の様々な部署から募ったメンバーによって4種類の新しい内装デザイン案を策定しました。

2018年2月、上記内装デザインに加え、座席シートの座り心地や吊り革の形状・高さなどについて、お客さまにアンケートを実施し、改造工事を予定していた9000系車両の内装設計に反映。9000系リニューアル車両は、2019年4月に運行を開始しました。

9000系リニューアル車両が好評であったため、2019年度以降に導入した8300系車両の内装デザインに、9000系車両と同等の「NANKAIマイトレイン」仕様を施しました。

「NANKAI マイトレイン」運行開始時のニュースリリース資料：<https://www.nankai.co.jp/library/company/news/pdf/190417.pdf>

グッドデザイン賞とは

1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「G マーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。

<http://www.g-mark.org/>



以上